

## ポルトガル

### 主要データ

国名〔英名〕	ポルトガル共和国〔Portuguese Republic〕
面積 (km <sup>2</sup> )	92,090
海岸線延長 (km)	1,793
人口 (百万人)	10.6
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	115.1
GDP (百万 US\$)	227,855
一人当り GDP (US\$)	21,408
主要鉱産物：鉱石	銅、亜鉛、銀、タングステン
主要鉱産物：地金	鉛
鉱業管轄官庁	ポルトガル経済革新省傘下、地質・エネルギー総局 (DGEG : Direcção Geral de Energia e Geologia)
鉱業関連政府機関	同上
鉱業法	有用鉱物を含む堆積物の採掘及び開発に関する法令 (法令第 90/90)、地下資源基本法 (法令第 88/90、1990 年 3 月 16 日制定)
ロイヤルティ	契約ごとに異なるが、鉱山生産価値に対して平均 2~4%
外資法	100%投資可。但し、外国企業を優遇する税制上の制度は無い
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	欧州の環境に関する EU 指令が年々厳格化されているため、政府は EU 基準に合わせて、探鉱活動や鉱山事業に関する法律の改正を便宜修正している。同国ではウラン探鉱は許可されていない
鉱業公社	—
鉱業活動中の民間企業	Lundin Mining、双日(株)等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	2010 年 2 月、Neves-Corvo 鉱山の労働者が、賃金 17%値上げを求めて、労働ストを断続的に計画。同年 5 月に和解合意で決着
2009 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lundin Mining 社は 2009 年 2 月、同社子会社の Pirites Alentejanas SA を MTO SGPS, SA へ売却し、Aljustrel 鉱山の権益 100%を譲渡した</li> <li>・ 2008 年 11 月以降、亜鉛価格の低迷が原因で、Neves-Corvo 鉱山及び Aljustrel 鉱山での亜鉛生産が休止</li> </ul>

### 1. 鉱業一般概況

ポルトガルにおける銅の鉱山生産量は、西欧では第 1 位(世界銅生産の約 0.5%)である。その他、非鉄金属に関しては、鉛・亜鉛(世界の約 0.3%)、タングステン(世界の約 3.9%)の生産が行われている。

2009年、亜鉛価格が低迷したことから、Aljustrel 亜鉛鉱山では2008年11月からの鉱山メンテナンスを継続、Neves-Corvo 銅鉱山も同月より亜鉛の生産を一時停止している。その結果、2009年の同国の亜鉛鉱山生産量は、前年比98.7%減の0.5千tとなった。

## 2. 鉱業政策の主な動き

現行の鉱業法は、1990年に制定されたものであるが、その後大きな制度変更はない。探鉱権については、期間は探鉱権1件につき最大5年間(延長を含む。)、面積は1件につき探鉱面積1,000km<sup>2</sup>未満と制限されている。但し、鉱業における環境規制に関しては、EU指令によって、改正が加えられてきた。

同国にはウラン賦存が確認されているが、現時点ではウラン探鉱は許可されていない。DGEGによれば、国内の投資促進及び経済成長のためにも、政府は現在、ウラン探鉱禁止の見直しを検討している。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

表3-1. 主要非鉄金属の生産量/消費量

(単位：千t)

鉱種	鉱山生産量(金属純分)		地金生産量		地金消費量	
	2008年	2009年	2008年	2009年	2008年	2009年
銅	89.0	86.5	-	-	1.0	3.2
鉛	-	-	4.8	4.0	13.2	7.0
亜鉛	38.8	0.5	-	-	18.3	12.0
銀(t)	28.8	22.5	-	-	-	-
タングステン	1.2	1.0	-	-	-	-

(出典：World Metal Statistics June 2010、WBMS Yearbook 2010)

表3-2. 主要非鉄金属の輸出量・輸入量

(単位：千t)

鉱種	ポルトガルからの輸出量			ポルトガルへの輸入量		
	2008年	2009年	増減率(%)	2008年	2009年	増減率(%)
銅鉱(総重量)	375.8	371.9	-1.0	-	-	-
銅地金製品	-	-	-	88.4	71.1	-19.6
鉛地金	-	-	-	11.1	6.6	-40.5
亜鉛地金	-	-	-	19.6	12.8	-34.7

(出典：World Metal Statistics June 2010)

## 4. 鉱山・製錬所状況

### ■Neves-Corvo 鉱山(Cu、Zn、Ag)

Neves-Corvo 鉱床は、広大なイベリア黄鉄鉱帯内に位置するヨーロッパ最大級の銅鉱山である。1989年に生産を開始した際は、Sociedade Mineira de Neves-Corvo SA(国営企業EDM社51%、Rio Tinto49%)がオペレーターであった。2006年、亜鉛の生産も開始した。

2008年11月、現在のオペレーターであるLundin Mining社は、亜鉛価格の下落が原因で、亜鉛鉱石の採鉱、及び粗鉱処理を一時停止すると発表し、2011年まで再開しない方針である。他方、2009年8月には、亜鉛生産能力の増強プロジェクト(目標5万t/年)を再開し、事業費計上43百万€の拡張工事

は 2011 年上期に完了する予定である。

2009 年 3 月 30 日、JORC 規程に基づく銅鉱の推定・確定鉱石埋蔵量が 17.3 百万 t(品位 Cu 4.1%)、亜鉛鉱の同上埋蔵量が 55.9 百万 t(品位 Zn 6.5%)へと更新。銅・亜鉛の増産を目指して、2010 年 Q1 も Lombador 鉱床開発の FS 調査を継続している。また、2010 年 3 月には、尾鉱からの銅・亜鉛回収を開始し、銅約 1 千 t、亜鉛 300t の回収に成功している。

表 4-1. 鉱山生産状況

鉱山名	権益 所有企業 (権益：%)	鉱種 (括弧内は、 生産量の単 位を示す)	2008 年 生産量 (金属純 分)	2009 年 生産量 (金属純 分)	増減率 09/08 (%)	備考
Neves-Corvo (坑内採掘)	Lundin Mining (本社： Toronto) 100%	銅(t)	89,026	86,462	-2.9	・2008 年 11 月以降、亜鉛 鉱石生産を休止(※銅生 産及び探鉱活動は継続) ・2010 年 2 月、賃金 17% 値上げを求めて、労働ス トが断続的に発生。5 月 に和解合意で決着
		亜鉛(t)	22,567	501	-97.8	
		銀(oz)	926,740	772,501	-16.6	
Aljustrel (坑内採掘)	MTO SGPS, SA (本社： Portugal) 100%	亜鉛(t)	16,687	0	-	・2007 年 12 月、亜鉛生産 を開始。2008 年 11 月以 降は亜鉛価格の低迷によ り、鉱山メンテナンスを 継続し、亜鉛生産を休止 ・2009 年 2 月、Lundin Mining 社が MTO SGPS, SA へ権益 100%を売却
Panasqueira (坑内採掘)	双日(株) の子会社 である Primary Metals 社 (本社： Vancouver) 100%	タングステン精 鉱(t)	1684 ※2	1,410 ※ 2	-16.3	・2007 年 8 月、双日(株)が Primary Metals 社との友 好的 TOB により 100%買 収 ・現在、1,100t/年のタング ステン精鉱を生産。中期 的将来には、2,000t/年規 模に拡張する計画
		銅精鉱(t)	186 ※2	164 ※2	-11.8	
		錫精鉱(t)	32 ※2	36 ※2	12.5	

(出典：各社の年次報告書 2009、※2：精鉱総量を示し、本統計はポルトガル地質エネルギー局 [DGEG] を参照)

■参考：同国リチウム生産に関して

DGEG によれば、ポルトガルでは 2009 年に、前年比 10.4%増の 38.5 千 t のリチウム含有(平均 2%程度)のペグマタイト鉱石が生産された。なお、Castanho 鉱山(Pegmatitica - Sociedade Mineira de Pegmatites, Lda. 操業)、Gonçalo-Sul 鉱山(José Aldeia Lagoa & Filhos, SA 操業)、Alvarrões 鉱山(Sociedade Mineira Carolinos, Lda. 操業)、Bojoca 鉱山(Felmica - Minerais Industriais, S.A. 操業)の 4 鉱山にて採掘が行われており、これらのリチウムは主に、耐熱ガラス及び陶磁器の釉薬として利用されている。

## 5. 探鉱・開発状況

スペイン南西部からポルトガル南北部に跨るイベリア黄鉄鉱帯 (Iberian Pyrite Belt) は、欧州西部で最も資源ポテンシャルが高いことで知られており、85 鉱床、埋蔵量 17 億 t 以上といわれる世界トップレベルの塊状硫化鉱床地帯である。イベリア黄鉄鉱帯には金、銀、銅、錫、タングステン、リチウム、そして未探鉱であるウラン鉱床等の極めて豊富な資源ポテンシャルがある。2008 年下期以降は世界不況の影響で、新規探鉱権の申請は減少しており、全体の既存探鉱案件 (2009 年 6 月時点) は 15 件である。

探鉱プロジェクトは、同国南部のイベリア黄鉄鉱帯上に集中しているが、同国北部にも注目されているプロジェクトがいくつか存在し、2009 年は特に北部でプロジェクトの進展がみられた。

具体的には、Jales 金旧鉱山の再開発プロジェクト (Galena International Resources 社 (本社: Vancouver) 権益 100%) では、2010 年 3 月に 860m のボーリング調査プログラムが完了。Lagoa Salgada 鉛垂鉛等の多金属探鉱プロジェクト (Strategic Resource Acquisition 社 (本社: Toronto) 権益 100%) では、2010 年 6 月にボーリング調査等の探鉱方針が固まった。さらに、Penedono 金・タングステン探鉱プロジェクト (Colt Resources 社 (本社: Quebec) 権益 100%) では、Marofa 地域で 2009 年 10 月に全長 657m の表面トレンチの試掘、及び全長 341m のボーリング調査が完了するなど、同国北部では注目に値する動きが見られた。

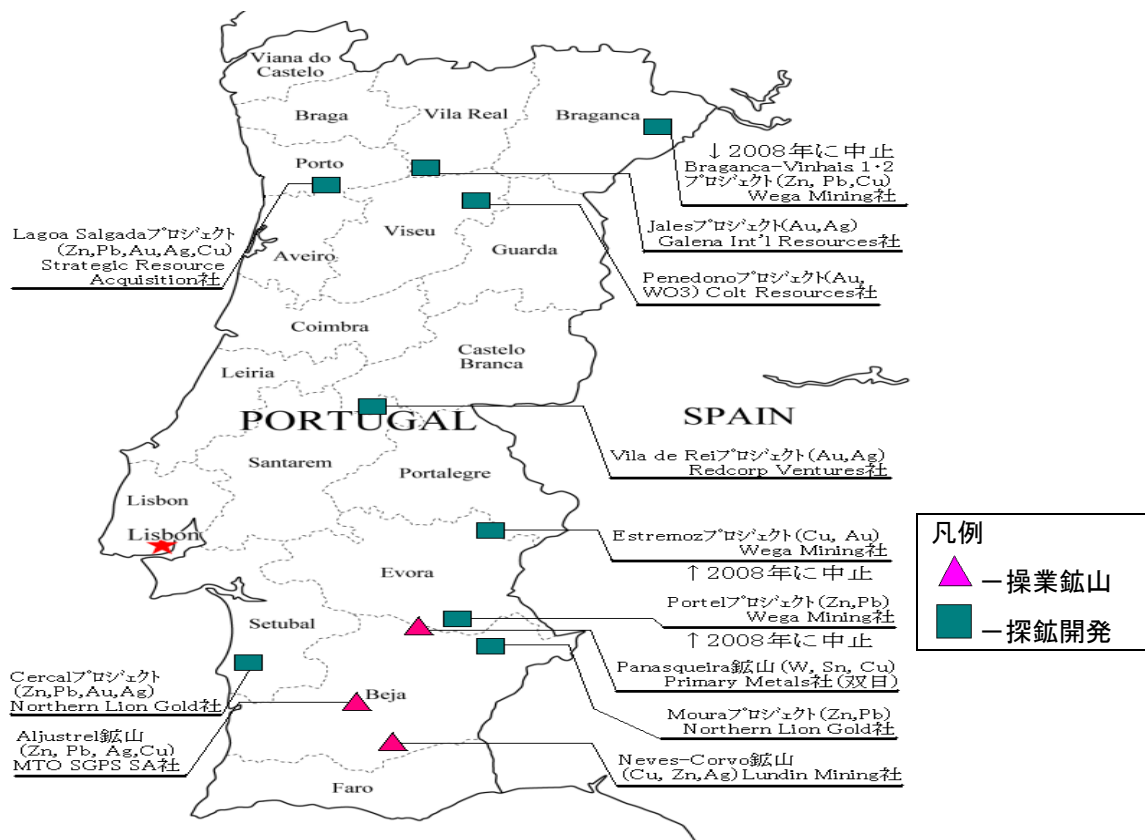


図 5. ポルトガルの主な稼動鉱山・探鉱案件の位置図

## 6. 我が国との関係

2010 年には、ポルトガル修好 150 周年記念を迎える。鉱業に関しては、上記のとおり、双日 (株) が Panasqueira タングステン鉱山の権益 100% を有しており、今後もさらなる増産が期待されている。その他、ルノー・日産アライアンスが 2009 年 7 月、同国に電気自動車向けの高性能リチウムイオン電池

の生産工場を建設すると発表。日産は、ポルトガル政府との合意の下、新工場に1億6,000万・の投資する意向を示している。生産は2012年に開始される予定で、年間生産能力は6万基/年、車両にして50,000台分相当を目指す。

## 7. その他トピックス

対GDP財政赤字比は2007年、2008年に3%に収まったものの、2009年は、世界経済危機対応のため9.4%まで悪化。2009年の失業率は9.5%にまで上がっている。2009年12月に欧州財務相理事会で採択された勧告を踏まえ、2010年より本格的に財政赤字削減に取り組むこととなり、2010年7.3%、2011年6.6%、2012年4.7%、2013年2.8%を目指している。具体的には、公務員の人件費抑制、社会保障給付見直し等を含む歳出削減策や、付加価値税及び個人所得税の引き上げを含む歳入増加策をあわせた財政赤字削減策を発表している(参考：外務省ホームページ)。

(ロンドン事務所 フレンチ香織)